

令和４年３月 北秋田市長記者会見

令和４年３月３日（木）午前１１時３０分

市役所本庁舎 大会議室

- １．感染症再拡大に伴う飲食・宿泊事業者緊急支援事業について
- ２．新型コロナウイルスワクチン追加接種及び小児ワクチン接種について
・・・資料１
- ３．スマホ決済アプリを利用した市税・各種料金の納付について
・・・資料２
- ４．北秋田市路線バスフリー定期券助成事業について・・・資料３

その他

- ・３月の行事予定

1. 感染症再拡大に伴う飲食・宿泊事業者緊急支援事業について

先日の3月議会で関連予算を承認いただきました「感染症再拡大に伴う飲食・宿泊事業者緊急支援事業」について、受付期間が短いことから改めましてお知らせいたします。

新型コロナウイルスの感染再拡大により、特に大きな影響を受けている飲食サービス業及び宿泊業の事業者に対し、事業継続と雇用の確保を目的に、北秋田市独自の緊急支援として補助金を交付する「感染症再拡大に伴う飲食・宿泊事業者緊急支援事業」を実施いたします。

補助金額につきましては、雇用保険の被保険者を5人以上雇用している飲食事業者に40万円、宿泊事業者に50万円、それ以外の飲食事業者には20万円、宿泊事業者には30万円となっております。

対象事業者は、北秋田市内に飲食店若しくは宿泊施設を有し、北秋田市に本社・本店を有する中小企業、又は北秋田市の住民基本台帳に記載されている個人事業主であることのほか、飲食サービス業を営み、飲食店営業許可を受けていること、若しくは旅館業法の経営の許可を受けていることが必要となります。

また、令和3年12月、令和4年1月、2月のいずれかひと月の売上高が、前年度又は前々年度の同月と比べて20%以上減少していることも条件となっております。

本事業の申請締切日は3月25日金曜日となっておりますので、お早めにお手続きくださるようお願いいたします。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。か、市役所新型コロナウイルス感染症緊急経済対策室または商工会までお問い合わせください。

2. 新型コロナウイルスワクチン追加接種及び小児ワクチン接種について

新型コロナウイルスワクチン追加接種につきましては、2回目接種から6カ月を経過した学校関係者、保育関係者等の方々に対しまして、前倒しの上、積極的な接種を働きかけながら、個別接種につきましては、1月下旬から市内10医療機関において、集団接種につきましては、2月9日から市内4特設会場で実施しており、2月末現在の接種者数は7千人を超え、接種率は28%程度となっております。

追加接種にあたりましては、大雪等の影響による送迎バスの遅れや駐車場の確保、当日のキャンセル等が心配されましたが、滞りなく順調に進んでおります。

また、特設会場ではモデルナ社のワクチンを使用しての追加接種、いわゆる交互相接種となりますが、現在までに救護室の利用実績は1件あるものの、大きな副反応の報告事例もなく推移しております。

4月以降の集団接種につきましては、鷹巣体育館と森吉総合スポーツセンターの二つの特設会場において、接種人数を1日最大1,800人として集中的に実施し、4月24日で終了する予定となっております。

小児ワクチン接種につきましては、接種対象者は5歳から11歳までの1,209人となっており、そのうち、9歳から11歳までの535人を対象に3月5日から集団接種を実施し、個別接種については、3月15日から市内3医療機関で開始いたします。

その他の年齢につきましては、ワクチン供給量を見ながら順次、進めてまいりたいと考えております。

集団接種の特設会場では、小児科医を配置して万全の体制で進めてまいります。接種にあたりましては、保護者の方は、予防の効果や副反応を十分理解し納得された上で接種してくださるようお願いいたします。

なお、3月中の日程につきましては、既に集団・個別ともに定員に達しております。4月以降の日程につきましては、追って、市のホームページ等でお知らせいたしますので、接種を希望される保護者の方は、WEB上の「北秋田市コロナワクチン予約サイト」にアクセスなどして、ご予約をお願いいたします。

3. スマホ決済アプリを利用した市税・各種料金の納付について

北秋田市では、キャッシュレス時代の流れに即した納付方法の導入により、市税及び各種料金の納付利便性の向上を図ることを目的といたしまして、4月1日からスマホ決済アプリを利用した「スマホ収納」を開始いたします。

市税等の納付につきましては、これまでも口座振替の推進やコンビニ収納を導入するなど、納付方法の拡充を図ってきたところです。

今回新たに導入する「スマホ収納」では、スマートフォンに専用アプリをインストールし、利用登録とチャージを行ったあと、納付書に記載されたバーコードを専用アプリで読み取ってお支払いいただくことで、金融機関やコンビニなどの窓口に出向くことなく、また、時間を気にすることなく納付が可能となります。

市民の皆さんへの周知につきましては、市広報4月号及び市のホームページへの掲載のほか、納付書へご案内チラシを同封することとしております。

なお、市税等の納付については、コンビニ収納と同様に金額が30万円を超えないものについて取り扱いが可能となっており、また、ご本人の契約状況により、利用可能額やチャージ額が異なります。「スマホ収納」に関する詳細・ご不明な点につきましては、**資料2**に記載の各担当係までお気軽にお問い合わせください。

<参考>

・対象となる市税・各種料金

- | | | |
|---------------------------------------|---------------|--------------|
| ① 市県民税（普通徴収）、固定資産税、軽自動車税（種別割）、国民健康保険税 | 【税務課収納係 | : ☎ 62-1115】 |
| ② 介護保険料 | 【高齢福祉課介護保険係 | : ☎ 62-1112】 |
| ③ 後期高齢者医療保険料 | 【市民課国保年金係 | : ☎ 62-1118】 |
| ④ 保育所保育料（公立・私立）・副食費（公立のみ） | 【福祉課こども福祉係 | : ☎ 62-6638】 |
| ⑤ 放課後児童クラブ保育料 | 【生涯学習課生涯学習係 | : ☎ 62-1130】 |
| ⑥ 市営住宅（使用料・駐車場使用料・共益費） | 【都市計画課都市計画住宅係 | : ☎ 72-5246】 |

・利用上限額など…別紙参考

4. 北秋田市路線バスフリー定期券助成事業について

北秋田市では、この4月から新たな交通対策事業として、路線バスフリー定期券助成事業を開始いたします。

市では、秋北バス株式会社が運行する一般路線バスの市外を含む全ての区間を自由に乗り降りでき、価格的にも低価格で購入できるように市が助成する定期券を、同社と共同で企画いたしました。

定期券の名称は「北秋田市路線バス スーパー得定期券」とし、通称を「**じょうもんパス**」としております。

定期券は1カ月、3カ月、6カ月の3種類あり、それぞれに市が7,000円、11,000円、16,500円を助成します。65歳以上と65歳未満で定期券の価格が異なりますが、例えば65歳以上の方の6カ月定期券は、通常33,000円のものが16,500円で購入でき、1カ月あたり2,750円で秋北バスが乗り放題となります。

高速バスや鷹巣市街地循環バスなど一部利用できない路線もありますが、一般路線については、北秋田市内に限らず、大館・鹿角・能代の各エリアでも自由に乗降できる大変お買い得で、利便性の高い定期券となっております。

普段から通院・通学に路線バスをご利用されている方はもちろん、自家用車を運転されていて運転免許の返納をご検討中の方、高齢者、若者に関わらず、ぜひこの定期券の購入をご検討いただき、公共交通を使って、自由に、お得に移動していただきたいと思います。

令和4年3月 市長記者会見質疑応答

2022.3.3 午前11時30分 本庁舎大会議室

マスコミ各社、広報係

市長、副市長、総務部長、総務課長、総務係長、総務係：松尾

Q) よみうり) 路線バスフリー定期券助成事業について、市の助成額が大きいが予算規模やこれまでの定期券利用状況はどうなっているか。

A) 市長) 秋北バスが運行する路線となるが、普段から通院や通学で利用している人はもちろん、今後、免許返納も検討している方などの利用の動機付けとして、多くの人にこの路線バスフリーを購入してもらいお得に移動していただきたい。

A) 総務部長) 全体の予算規模は360万円程度。定期券利用状況は把握していない。

Q) 魁) スマホ決済は県内でも珍しいと思うが他市の状況はどうなっているか。

A) 副市長) 鹿角、横手、秋田市などで導入している。